

泉北教組

各地教委に教育要求書を提出 教職員の要求の一番は 「30人学級の実現」

職場要求アンケート結果より

(2) 教育委員会への要求(複数回答)

- | | |
|------------------|-----|
| 1. 30人学級の実現 | 88% |
| 2. 賃金を上げてほしい | 80% |
| 3. 教職員の増員 | 76% |
| 4. 備品・消耗品の充実 | 73% |
| 5. 免許更新制度廃止 | 60% |
| 6. 「評価・育成」システム廃止 | 57% |
| 7. 事務や書類の簡素化 | 53% |

(2) 教育委員会に望むこと(上記枠内に主なものを載せています)

まず、職員の賃金を上げてほしい。また、教職員の増員、備品・消耗品の充実、免許更新制度の廃止、評価・育成システムの廃止、事務や書類の簡素化などをお願いしています。

さて、要求アンケートのポイントをまとめてみましょう。

(1) 教職員の勤務状態

A. 退勤時間

18時～19時	35%
19時～20時	21%
20時～21時	18%
21時以降	8%

で、21時以降という人も8%存在します。定時で

帰れる人は5%です。95%の人が毎日「超勤」です。始業8時30分からすると、退勤時間は17時のはずです。

B. 休憩時間

とれていない 76%
時々とれている 16%
昼の時間帯は給食や昼食指導で休憩をとれていませんし、職員室へ戻ってきてても電話受けや児童生徒との会話などがあり、休憩には本来カウントされません。

春からみなさんにご協力をお願いしていました職場要求アンケートが一定数集まり集計をしました。このアンケートは大きく分けて3つに分かれます。

(1) 職場の教職員の勤務状態

(2) 教育委員会へ望むこと

(3) 各学校の施設・設備の改善要求

泉北教組では、このアンケートをもとに教育要求書をまとめ各地教委に提出をしました。教育委員会からの回答を受け、毎年11月頃から、和泉市、高石市、忠岡町の教育委員会と交渉を持ちます。

(3) 各校の施設・設備要求

各校から出されてた要求項目を、教育要求書とあわせて各教育委員会に提出します。後日の交渉の際には、是非ご参加ください。

(4) その他アンケートより(主なもの)

- A. 勤務時間管理
- ・ 実際超勤があるのに、何も改善されない。
 - ・ 管理簿を毎日つけるのは大変、タイムカード制にしてみたら。
 - ・ 自分が月50時間の残業をしていると分かった。
 - ・ 週1回でもいいから、一斉に全職員が早く帰る日を作れどうか。
- B. 府や市町に望むこと(アンケート項目以外)
- ・ 土曜の授業、復活してほしい。
 - ・ クラスの児童数は42人という現状。ダブルカウントしてほしい。
 - ・ 賃金が減っているのだから、人員を増やすなどして仕事を減らしてほしい。
 - ・ 小学校では、洋式トイレ

泉北教組・重点項目(抜粋)

- ◇府教委がすすめる「教職員の評価・育成システム」の撤回を市教委として求めること。市教委として「授業アンケート」を実施しないこと。
- ◇小中学校の35人以下学級(少人数学級)が早期に実施されるよう、府や国にはたたきかけること
- ◇「大阪府教育行政基本条例」「大阪府立学校条例」「職員基本条例」、また「職員の政治的行為の制限に関する条例(案)」「労使関係に関する条例(案)」に市教委として反対の表明をすること。
- ◇教員免許更新制度の中止を申し入れること。抽選漏れ等による失職者をださないよう努力すること。教員の金銭的負担をなくすこと。
- ◇トイレの改善
- ◇未設置の教室に、空調設備をつけること。
- ◇東日本大震災、津波などを教訓化し、小中学校の防災教育の見直し、各地区ごと、各校ごとの体制を早急に整備すること。【高石・忠岡】
- ◇中学校給食の実施にあたっては、各学校から要望をきき、泉北教職員組合と協議すること。【高石・忠岡】給食の民営化をしないこと。給食施設の改善を行うこと。【和泉】
- ◇小中一貫教育を口実にした学校統廃合をしないこと。「過大規模解消」のためには小学校と中学校の両方を新設すること。【和泉】
- ◇学校から要望のある施設・設備の改修に向けた予算措置を行うこと。放送施設の改修を急ぐこと。プールの改修を行うこと。【和泉】
- ◇労働安全衛生法に基づく「安全委員会」「衛生委員会」又は「安全衛生委員会」を町で設置すること【忠岡】

でしか用を足せない児童がいるが、ほとんどが和式トイレ(特に高石)。社会の

常識と合っていない。
・ 放送設備が古く、音が途切れることがある。

泉北教組に加入して、「評価・育成システム」をなくそう